



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社
 コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務部長 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	53,150	6.6	6,914	6.0	7,583	9.1	5,439	4.2
29年3月期第3四半期	49,836	3.3	6,521	4.4	6,950	4.6	5,679	21.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 7,663百万円 (11.6%) 29年3月期第3四半期 6,869百万円 (96.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	89.88	
29年3月期第3四半期	91.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	95,859	69,339	72.3	1,145.81
29年3月期	89,912	63,136	70.2	1,043.20

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 69,339百万円 29年3月期 63,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		13.00	22.00
30年3月期		11.00			
30年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	0.9	7,400	10.6	7,400	12.8	5,300	20.5	87.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	65,208,397 株	29年3月期	65,208,397 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	4,692,731 株	29年3月期	4,687,018 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	60,518,857 株	29年3月期3Q	61,984,503 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、第2四半期までと同様に為替の円安基調に後押しされ、企業収益や雇用環境の改善により回復基調で推移いたしました。一方、海外では米国経済が依然として堅調に推移し、欧州経済も回復傾向に進みましたが、米国・北朝鮮をはじめとする海外の政治・経済の不確実性が日本経済にも影響を及ぼすことが懸念され、先行き不透明な状況であります。

このような環境のもと、当社グループは海外を中心に販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高531億50百万円（前年同期比6.6%増）、営業利益69億14百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益75億83百万円（前年同期比9.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億39百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトは、組み込みライン用は新機種への採用などから前年同期と比較して売上高が増加しましたが、補修用は車検交換需要の低下により売上高が減少し、全体では前年同期を下回りました。

一般産業用ベルトは、射出成形機やロボット業界の需要が高まっていることから売上高が好調に推移しました。また、搬送ベルトは食品業界や物流業界向けの売上高が好調に推移するとともに、合成樹脂素材も自動車関連部品などを中心に売上高が増加しました。

一方、OA機器用ベルトはユーザの中国市場向け機種への減少影響などから、売上高は減少しました。

その結果、当事業の売上高は213億69百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は58億21百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

欧州では、自動車用ベルトの売上高は前年同期並みで推移し、一般産業用ベルトは農業機械用などの補修用需要が増加したことから、全体では売上高が増加しました。

米国では、自動車用ベルトは新機種への立上げ効果などから売上高が伸長し、一般産業用ベルトも前年同期並みとなったことから、全体では売上高が増加しました。

アジアでは、一般産業用ベルトは中国市場で減少したものの、タイやインドネシアなどの東南アジアで農業機械用や補修市場の販売が好調であったことから、売上高が増加しました。また、自動車用ベルトは補修用の拡販に加え、二輪車用の需要が増加したことから、売上高が増加しました。一方、OA機器用ベルトの売上高は横ばいとなりました。

その結果、当事業の売上高は246億89百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は27億95百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

〔建設資材事業〕

建築部門は公共や民間の改修工事の需要が減少し、土木部門も大型の工事物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は35億14百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は58百万円（前年同期比77.9%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は35億77百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は1億28百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、現金及び預金の増加等により流動資産が33億81百万円、株価の上昇等により固定資産が25億66百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比59億47百万円増加の958億59百万円となりました。

一方、負債は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比2億57百万円減少の265億19百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が39億87百万円、株価の上昇等によりその他の包括利益累計額が22億24百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比62億3百万円増加の693億39百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から72.3%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内経済は、引き続き、回復基調が予想され、海外では、米国経済も堅調に推移するものと考えられますが、欧米諸国の政治動向や北朝鮮問題などによる下振れ懸念もあり、世界情勢の不透明感は続くものと考えられます。

このような状況を踏まえ、平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に発表しました業績予想の変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,262	28,542
受取手形及び売掛金	14,648	15,414
商品及び製品	11,605	11,430
仕掛品	1,549	1,750
原材料及び貯蔵品	2,388	2,583
その他	1,338	1,455
貸倒引当金	△112	△116
流動資産合計	57,679	61,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,697	6,794
機械装置及び運搬具(純額)	6,976	6,802
工具、器具及び備品(純額)	2,083	2,123
土地	4,280	4,279
建設仮勘定	721	1,207
有形固定資産合計	20,759	21,207
無形固定資産	69	69
投資その他の資産		
投資有価証券	11,066	13,144
その他	348	387
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	11,403	13,520
固定資産合計	32,232	34,798
資産合計	89,912	95,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,779	8,604
短期借入金	3,472	3,267
未払法人税等	1,360	756
賞与引当金	759	164
その他	4,750	4,924
流動負債合計	18,121	17,717
固定負債		
長期借入金	3,048	2,341
退職給付に係る負債	1,393	1,559
役員退職慰労引当金	26	27
その他	4,186	4,874
固定負債合計	8,654	8,802
負債合計	26,776	26,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	2,111	2,111
利益剰余金	50,328	54,315
自己株式	△3,305	△3,312
株主資本合計	57,285	61,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,338	7,786
為替換算調整勘定	△201	558
退職給付に係る調整累計額	△285	△270
その他の包括利益累計額合計	5,851	8,075
純資産合計	63,136	69,339
負債純資産合計	89,912	95,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	49,836	53,150
売上原価	33,318	35,710
売上総利益	16,518	17,440
販売費及び一般管理費	9,996	10,525
営業利益	6,521	6,914
営業外収益		
受取利息	75	89
受取配当金	344	313
為替差益	—	191
その他	257	237
営業外収益合計	677	832
営業外費用		
支払利息	33	19
為替差損	50	—
固定資産除却損	61	41
売上割引	36	45
その他	66	57
営業外費用合計	248	164
経常利益	6,950	7,583
特別利益		
投資有価証券売却益	1,080	—
固定資産売却益	—	182
特別利益合計	1,080	182
税金等調整前四半期純利益	8,031	7,765
法人税等	2,351	2,326
四半期純利益	5,679	5,439
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,679	5,439

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	5,679	5,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	521	1,448
為替換算調整勘定	660	760
退職給付に係る調整額	7	15
その他の包括利益合計	1,189	2,224
四半期包括利益	6,869	7,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,869	7,663
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	20,310	22,314	3,821	46,447	3,389	49,836	—	49,836
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,384	1,434	0	7,819	1,160	8,980	△8,980	—
計	26,695	23,749	3,821	54,266	4,550	58,816	△8,980	49,836
セグメント利益	5,121	2,806	265	8,193	153	8,347	△1,825	6,521

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,825百万円には、セグメント間取引消去420百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,246百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	21,369	24,689	3,514	49,572	3,577	53,150	—	53,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,725	1,522	0	8,248	1,106	9,355	△9,355	—
計	28,095	26,211	3,514	57,821	4,683	62,505	△9,355	53,150
セグメント利益	5,821	2,795	58	8,674	128	8,803	△1,889	6,914

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,889百万円には、セグメント間取引消去435百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,324百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。